



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

環境負荷の少ない持続可能な社会 の実現に向けた広島県の取組

～2050ひろしまネット・ゼロカーボンに向けて～





－ 内 容 －

1 カarbonニュートラル に向けた動き

- ・ 国内外の動き
- ・ 国の計画改定・削減目標
- ・ 県計画の見直し・削減目標の強化
- ・ 広島県地球環境対策推進会議の推進体制強化
- ・ 排出削減に向けた県の取組

2 広島県の気候変動への対策

- ・ 広島県地球温暖化防止地域計画及び 広島県気候変動適応計画
- ・ 緩和策と適応策
- ・ 計画における新たな視点・ポイント
- ・ 計画目標
- ・ 施策体系と主な取組の方向
- ・ 「緩和策」の取組
- ・ 「適応策」の取組
- ・ 計画の推進体制

国内外の動き



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ 2050年カーボンニュートラル宣言（2020.10月）

- ・菅首相が所信表明演説宣言
⇒「2050年カーボンニュートラルへの挑戦は、日本の新たな成長戦略である。」

■ 2030年度に2013年比で▲46%（2021.4月）

- ・気候変動サミットで表明
⇒これまでの削減目標
▲26%から大幅な積み増し
- ・地球温暖化対策計画等を改訂
(2021.10月)



写真:首相官邸HP
(地球温暖化対策推進本部)

〔参考：各国の2030年削減目標〕

アメリカ	50～52%削減(2005年比)
EU	55%削減(1990年比)
イギリス	78%減(2035年目標, 1990年比)
中国	2030年までにCO2排出量を減少に転じさせる。 2060年までに実質ゼロ

国の地球温暖化対策計画の改定

(2030温室効果ガス削減目標：▲26%→▲46%)



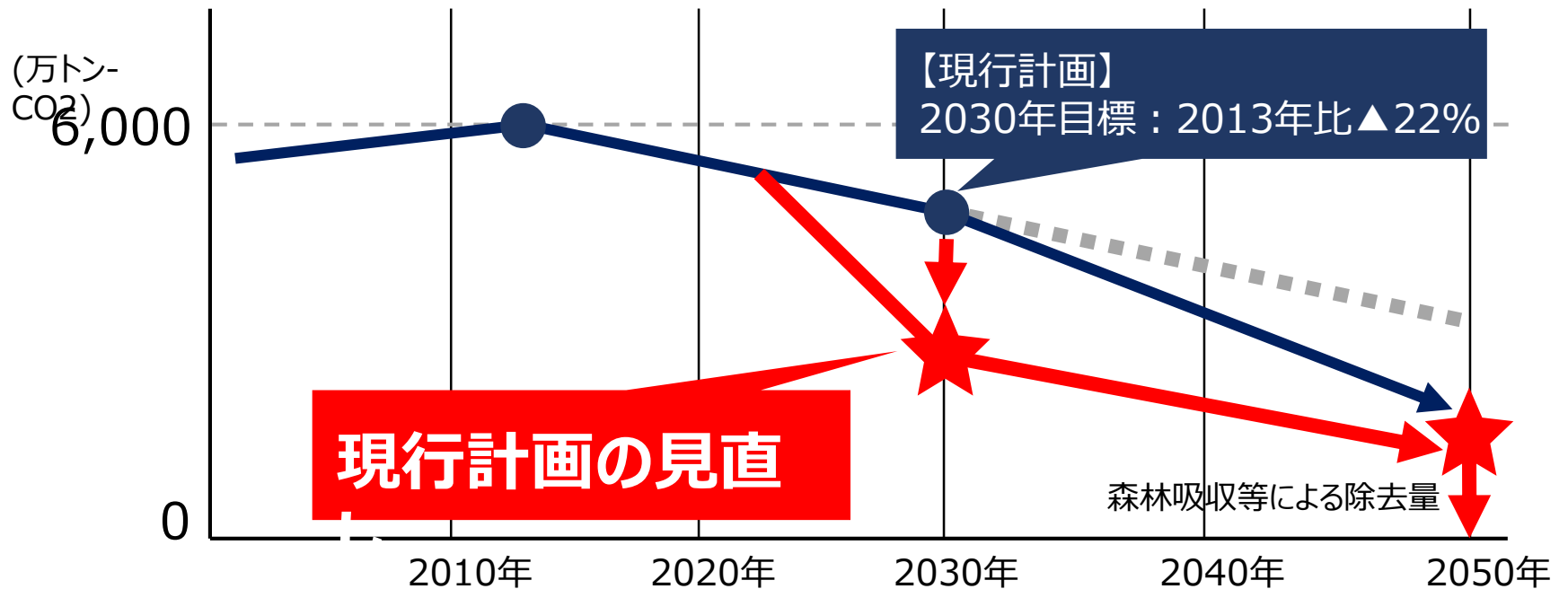
本県でも温室効果ガス削減目標の見直しが必要



再生可能エネルギーの導入促進など取組を加速

県計画の見直し・削減目標の強化

温室効果ガス排出量





2050ネット・ゼロカーボンの実現は、重要な課題



「広島県地球環境対策推進会議」を知事トップに改組

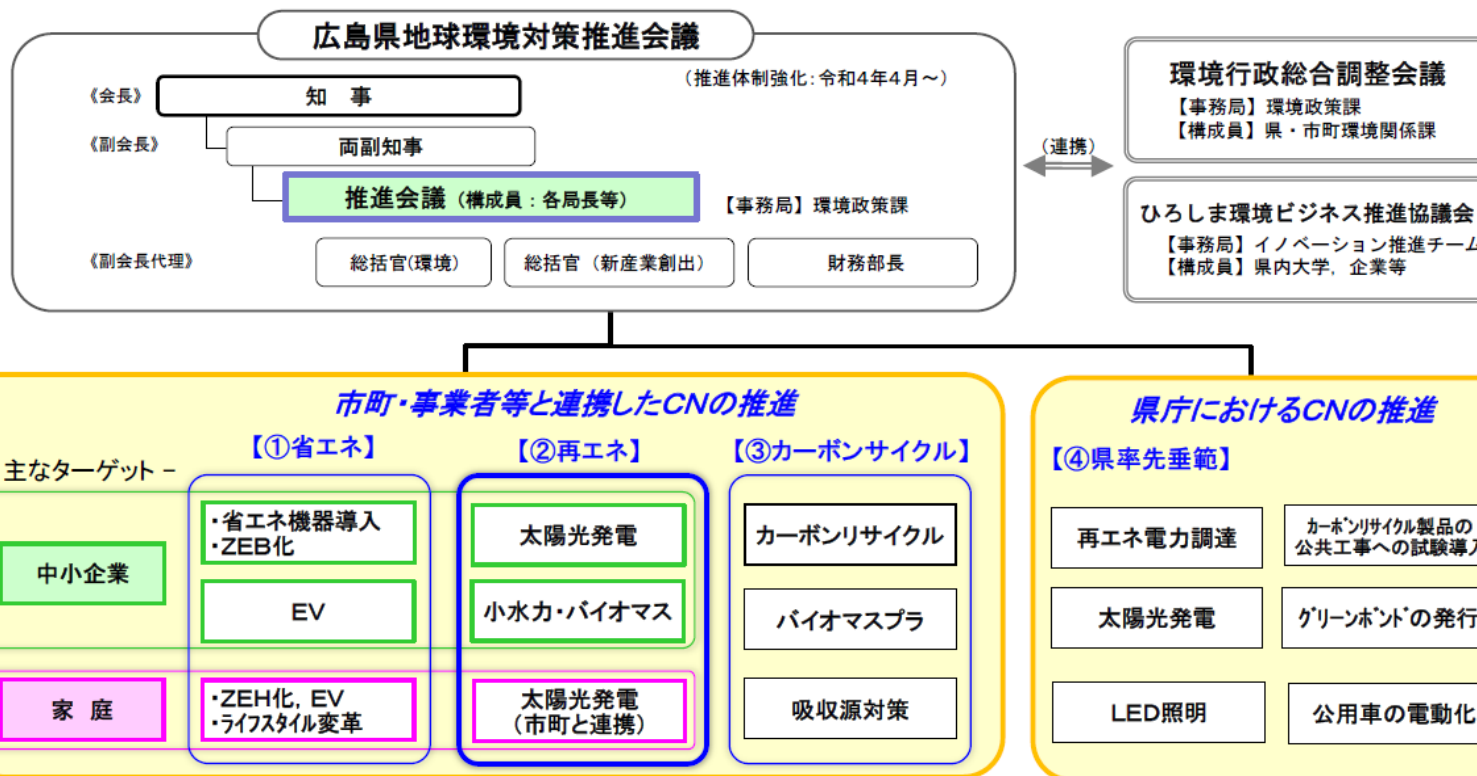


省エネや再エネの推進とともに、カーボンサイクル等を
新たなビジネスチャンスに、広島県を発展


広島県地球環境対策推進会議の推進体制強化



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン



排出削減に向けた県の取組


広島県 ゼロカーボンシティ宣言


令和2年10月、「2050年カーボンニュートラル」が宣言されて以降、国においては、その実現に向けて、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定や「国・地方脱炭素実現会議」の開催などにより、「経済と環境の好循環」を目指した取組について、国を挙げて強力に推し進められています。

こうした中、広島県は、カーボンが様々な形で存在し、自然界や産業活動の中で循環し、持続的に共生できる社会経済「カーボン・サーキュラー・エコノミー」の実現を目指しています。

広島県は、これまでの省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進に加え、二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用、石油由来プラスチックからの代替促進などにより、環境と地域経済の好循環を図りながら、SDGsへも貢献することで、日本のみならず世界から注目を集めるような広島型カーボンサイクル構築の取組を推進していきます。

このため、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう、「みんなで挑戦 未来につながる 2050 ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行います。

令和3年3月18日

広島県知事 



みんなで挑戦 未来につながる 2050ひろしまネット・ゼロカーボン宣言

排出削減に向けた県の取組（計画改定）

施策体系	主な取組の方向
省エネルギー対策等の推進	<ul style="list-style-type: none">・温室効果ガス削減計画書の策定・公表制度による事業者の自主的な取組の促進・二酸化炭素の排出抑制につながる技術・設備の導入促進・「広島県地球温暖化防止活動推進センター」などと連携した地域の取組の推進・「うちエコ診断」の実施など、二酸化炭素排出量「見える化」の促進
再生可能エネルギーの導入促進	<ul style="list-style-type: none">・太陽光や木質バイオマスのエネルギー利用の促進・再生可能エネルギーの利用（需要側）に着目した取組の検討
カーボンサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none">・広島型カーボンサイクルの推進・森林の経営管理の推進
気候変動を見据えた適応策の推進	<ul style="list-style-type: none">・気候変動適応に係る情報収集、整理、分析、発信・取り組むべき優先順位が高い項目に係る適応策の推進
基盤づくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・環境配慮の仕組みづくりの促進・低炭素型まちづくりの推進・環境学習、研究、開発の推進

※第3次広島県地球温暖化防止地域計画より

国の計画改定に伴い、「広島県地球温暖化防止地域計画」及び「広島県地球温暖化対策実行計画」の改定が必要！



－ 内 容 －

- 1 **カーボンニュートラルに向けた動き**
 - ・ 国内外の動き
 - ・ 国の計画改定・削減目標
 - ・ 県計画の見直し・削減目標の強化
 - ・ 広島県地球環境対策推進会議の推進体制強化
 - ・ 排出削減に向けた県の取組

- 2 **広島県の気候変動への対策**

- ・ 緩和策と適応策
- ・ 計画目標
- ・ 施策体系と主な取組の方向
- ・ 「緩和策」の取組
- ・ 「適応策」の取組
- ・ 計画の推進体制



温室効果ガスの増加

化石燃料使用による
二酸化炭素の排出など

気候要素の変化

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位上昇など

温暖化による影響

自然環境への影響
人間社会への影響

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

適応

自然や人間社会の
あり方を調整する

出典：環境省

➤ **緩和策とは**：温室効果ガス排出量を削減するための対策

例) 省エネルギー対策, 再生可能エネルギーの導入 など

➤ **適応策とは**：気候変動の影響に備え, 被害を少なくするための対策

例) 熱中症の予防対策, 気温の変化に強い農作物の品種改良,
河川改良等の洪水対策 など

計画目標(第3次広島県地球温暖化防止地域計画)



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
 ネット・ゼロカーボン

■計画期間：2021年度～2030年度(10年間)

■削減目標：2030年度において2013年度比▲22%

※広島県は、鉄鋼業や化学工業などエネルギー多消費型の産業が集積する「ものづくり県」であり、国の目標値(▲26%)を県に当てはめた場合、目標とする削減率が低くなる。

区分		H25(2013) (基準年度)	R12(2030) (目標年度)				
		排出量 ①	将来予測(BaU) ②	削減見込量 ③	対策後排出量 ④=②+③	削減率 ⑤=(④-①)/①	
二酸化炭素	産業部門	4,094	3,733 (▲9%)	▲502	3,231	▲21%	
	運輸部門	613	607 (▲1%)	▲84	522	▲15%	
	民生部門	家庭	579	513 (▲11%)	▲114	399	▲31%
		業務	405	363 (▲10%)	▲96	267	▲34%
	廃棄物部門	45	52 (+15%)	▲4	47	+5%	
	小計	5,736	5,268 (▲8%)	▲802	4,466	▲22%	
その他ガス		167	235 (+41%)	▲100	134	▲19%	
合計		5,903	5,503 (▲7%)	▲903	4,600	▲22%	

➤ 国の目標値引上げ表明(2021.4月)を踏まえ、本年度、県計画も見直し作業中

施策体系と主な取組の方向

施策体系

1

省エネルギー対策等の推進

【二酸化炭素排出削減対策の推進】

- (1) 産業部門・民生(業務)部門対策
- (2) 運輸部門対策
- (3) 民生(家庭)部門対策
- (4) 廃棄物部門対策

【その他温室効果ガス削減対策の推進】

- (5) 代替フロン類排出削減対策



2

再生可能エネルギーの導入促進



3

カーボンサイクルの推進

- (1) 広島型カーボンサイクル構築に向けた取組の推進
- (2) 森林吸収源対策の推進



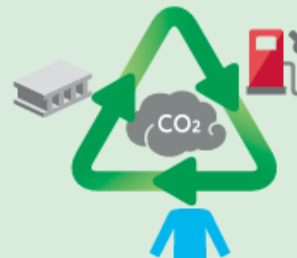
主な取組の方向

- ・温室効果ガス削減計画書の策定・公表制度による事業者の自主的な取組の促進
- ・二酸化炭素の排出抑制につながる技術・設備の導入促進
- ・「広島県地球温暖化防止活動推進センター」などと連携した地域の取組の推進
- ・「うちエコ診断」の実施など、二酸化炭素排出量「見える化」の促進



- ・太陽光のエネルギー利用の促進
- ・木質バイオマスのエネルギー利用の促進
- ・再生可能エネルギーの利用(需要側)に着目した取組の検討

- ・広島型カーボンサイクルの推進
- ・森林の経営管理の推進



※広島型カーボンサイクル；
二酸化炭素を炭素資源と捉え、
広島県の強みを生かしながら、
生産活動における再利用や、
海洋中で二酸化炭素に分解される
海洋生分解性プラスチック等
の普及促進などにより、海洋を
含む地球上において、炭素を循環
させる仕組み



施策体系と主な取組の方向

施策体系

4

気候変動を見据えた適応策の推進



主な取組の方向

- ・気候変動適応に係る情報収集,整理,分析,発信
(令和3年4月「ひろしま気候変動適応センター」を設置)
- ・取り組むべき優先順位が高い項目(農業,自然生態系,自然災害・沿岸域,健康,県民生活・都市生活)に係る適応策の推進

5

基盤づくりの促進



- ・環境配慮の仕組みづくりの促進
- ・低炭素型まちづくりの推進
- ・環境学習,研究,開発の推進



「緩和策」の取組①(省エネルギー対策の推進)



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ 県条例に基づき事業者の自主的取組を促進

- 広島県生活環境の保全等に関する条例に基づき、温室効果ガス削減計画書と削減実施状況報告書の作成・公表を求めることで、事業者の自主的取組をより一層促進し、事業活動に伴う温室効果ガスの排出を抑制

区分	内容
対象者	1,500kl以上※の事業所 ⇒ R3対象事業所:222
計画書	作成・提出・自ら公表・県が公表
実施状況報告書	作成・提出・自ら公表・県が公表
勧告	計画書等を提出等しない者への勧告

※エネルギー年間使用量の原油換算



■ライトダウンキャンペーンの推進

- 地球温暖化問題を考える機会として、夏至の日から七夕の日までの間、ライトダウンキャンペーンを実施し、ライトアップ施設や家庭の照明を消灯



■ひろしまクールシェアの推進

- 公共施設や商業施設などの涼しい場所に出かけて過ごす「ひろしまクールシェア」を実施
- コロナ禍による新しい生活様式に対応し、家庭で楽しみながら実施できるクールビズやウォームビズを呼びかけ



「緩和策」の取組③



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ 「ひろしま環境の日」の実践

- 県民一人ひとりのエコ意識の高揚を図り、実践行動を促すことを目的に、毎月第一土曜日を「ひろしま環境の日」に設定（H22（2010））
- H23（2011）から、「ひろしま環境の日」の趣旨に賛同し、実践行動に取り組む企業・学校・地域活動団体等による「行動宣言」の募集・登録を開始し、その取組内容等を広く情報発信（令和3年10月現在1,656団体が登録）

毎月第一土曜日は 「ひろしま環境の日」



月	みんなで取り組む一斉行動
1月第一土曜日	やってみようエコな買い物! ～使い切れないものは買わず、必要な分だけ購入～
2月 "	やってみよう省エネ生活! ～暖房の設定温度は20℃以下～
3月 "	やってみよう省エネ生活! ～電化製品は主電源を切り、待機電力を減らそう～
4月 "	やってみようエコドライブ! ～ふんわりアクセル(発進時に5秒間で20km/h)～
5月 "	外出時は自転車や公共交通機関を利用しよう!
6月 "	買い物にはマイバッグを持参しよう!
7月 "	やってみよう省エネ生活! ～不要な照明は消そう～
8月 "	やってみよう省エネ生活! ～エアコンの設定温度は28℃～
9月 "	やってみよう省エネ生活! ～こまめに水を止めよう～
10月 "	買い物にはマイバッグを持参しよう!
11月 "	やってみようエコドライブ! ～ふんわりアクセル(発進時に5秒間で20km/h)～
12月 "	やってみよう省エネ生活! ～できるだけ階段を利用しよう～

登録番号: ****

「ひろしま環境の日」行動宣言登録証



次の者は、「ひろしま環境の日」行動宣言の登録を行っていることを証します。

宣言者名 ○○○

平成**年**月**日

広島県知事 湯崎英彦

「緩和策」の取組④



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ うちエコ診断の受診（家庭における省エネ対策）

- 広島県では、環境省認定の公的資格を有する「うちエコ診断士」を派遣し、県民の皆様のライフスタイルに応じた省エネ対策を提案する事業を推進
- 今年度からは、新たに環境省によるweb診断も開始（スマホで簡単に診断可能）



診断士による対面診断

（環境省資料から作成）



専用サイトでのweb診断

web版QRコード



広島県 うちエコ診断

検索

➤ うちエコ診断により学べること

【受診後】 ご家庭の光熱費の効果的な削減策の提案

⇒ 例えば、4人世帯の場合、年間7万円の節約が可能

（設備投資金額を含まない。）

「緩和策」の取組⑤(再生可能エネルギーの導入促進)



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■中国電力グループとの共同事業で地域還元型メガソーラーを設置

大朝地区(1.0MW)



庄原地区(2.5MW)



仁賀地区(0.6MW)



福富地区(第1:1.0MW)(第2:2.3MW)



竹原地区(0.8MW)



大野地区(2.2MW)



□ : 県有地

□ : 市町所有地

➤ 合計で、一般家庭3,100世帯の
年間電力使用量に相当する電力を発電



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■メガソーラー発電の収益を地域に還元

●地域の団体による温暖化対策に資する活動を支援

省エネマイスター育成



省エネ学習会



緑のカーテン



SDGsカードゲーム



省エネイベント



エコクッキング





みんなで挑戦 未来につながる

2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■メガソーラー発電の収益を地域に還元

●幼稚園・保育所等の省エネエアコン・太陽光発電等の設置を支援



「緩和策」の取組⑦(再生可能エネルギーの導入促進)



みんなで挑戦 未来につながる

2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■再生可能エネルギーを活用したEVシェアリング



- 中国電力などの民間企業と、ゼロカーボン・ドライブ”を実現する「完全自立型EVシェアリングステーション」の実証事業を開始
- 電力系統から独立したソーラーカーポートと、蓄電・制御システムを一体化した太陽光のみで運用するEVステーションに、カーシェアリングサービスを組み合わせた、世界初の取り組み

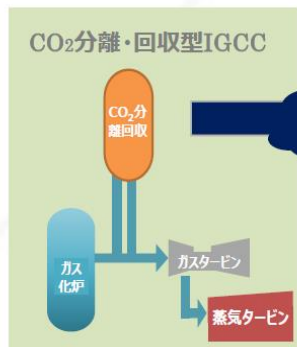
「緩和策」の取組⑥(広島型カーボンサイクルの推進)



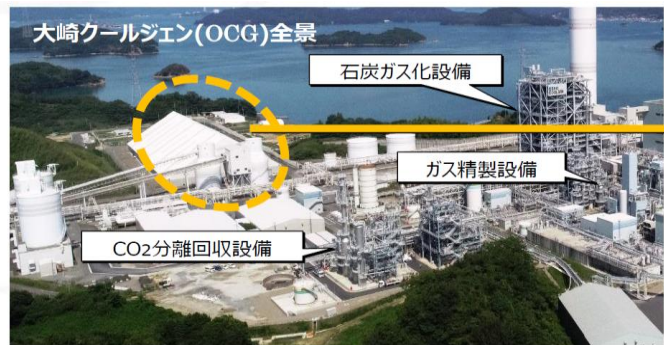
みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■県内でカーボンリサイクル研究開発に関する取組を推進

●大崎クールジェンプロジェクト



●カーボンリサイクル技術の実証研究拠点



実証研究拠点の整備イメージ



出典 国立研究開発法人
新エネルギー産業技術総合開発機構
(NEDO)

➤ カーボンリサイクルに関する知見や取組を集積することで、研究開発の先進地域となることを目指し、関係事業者等と「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」を設立(2021.5月)



■重要な分野・項目に係る適応策の推進

●農業

- ・収穫量推移や技術相談内容をモニタリングし、必要に応じて、新品種を検討
- ・高温耐性品種「恋の予感」「あきさかり」を県奨励品種に位置付け普及
- ・病害虫について、害虫の発生状況をモニタリングして適時に防除指導を実施

●自然生態系

- ・イノシシやニホンジカなど、野生生物のモニタリングを継続実施
- ・外来生物等の侵入・定着の防止や防除を促進

●自然災害・沿岸域

- ・「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の推進
- ・洪水氾濫を未然に防ぐため、河道拡幅等のハード対策や堆積土砂等の除去を実施
- ・土石流・がけ崩れ等の土砂災害に備え、ハード対策や、災害リスクに対し適切な避難行動につなげるためのソフト対策を実施

●健康

- ・熱中症の予防や対策について、リーフレットの配布等による普及啓発を実施

●県民生活・都市生活

- ・クールビズ、クールシェア等の普及啓発を推進

「適応策」の取組②(気候変動適応センターの設置)



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ R3.4月, 広島県保健環境センター(県の試験研究機関)に ひろしま気候変動適応センターを設置

【業務内容】

- 県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析
 - ・ 県内研究機関との意見交換 (R3.6.21)
- 事業者や県民等への情報提供
 - ・ ホームページ開設
(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou/>)
 - ・ 第1回ひろしま気候変動適応セミナーの開催
(R3.10.20)
- 地域適応計画の策定や適応の推進のための技術的助言
- 国立環境研究所気候変動適応センターや地域研究機関等との情報共有

➤ 県内における「気候変動適応策」の認知度

・ R3.2月: 18.4%

・ R3.9月: 18.2%

(広島県「県民意識調査」)

第1回 ひろしま気候変動適応セミナー ～企業にとっての気候変動適応～

日時場所 令和3年 10月20日(水) 13:30~15:20
Zoomによるオンライン開催
「パソコンまたはスマートフォン」と「インターネットが利用できる環境」
をご確認ください

参加対象 県内事業者、県民
※ 県内事業者の皆様をはじめ、幅広く県民の方も参加可能です。
お名前、所属、メールアドレスをオンライン参加申込書にご記入のうえ、
下記メールアドレスにお申込みください。
開催前日までに参加用URLをメールでご連絡いたします。
【E-mail】hkckankyoku@pref.hiroshima.lg.jp

参加申込 令和3年10月17日(日)まで

申込締切

参加費無料 事業者や県民の皆様が気候変動と適応について理解を深めていただくとともに、対策を打っていただくきっかけづくりのためのセミナーです。

プログラム

開会あいさつ(13:30~13:40)
ひろしま気候変動適応センター長
有吉 邦江

講演1(13:40~14:25)
気候変動の現状と適応について
気候変動で何が起きるか、気候変動適応の重要性、国・自治体の取り組み
など、気候変動適応全般を紹介
国立環境研究所 気候変動適応センター長
向井 人史 氏

講演2(14:25~15:10)
気候変動に係るリスクとチャンス
西日本豪雨時の広島県内の影響を振り返り、最新の技術動向を踏まえた
気候変動適応と緩和策を考える
株式会社ウェザーニューズ ClimateneWSプロジェクト
調査役 志賀 康史 氏

詳細はHPをご覧ください。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム

お問い合わせ:【電話】082-255-7131 【FAX】082-252-8642
令和3年4月1日、県立総合技術研究所保健環境センター内に事業者の皆様、県民の皆様
に気候変動情報の提供を行う「ひろしま気候変動適応センター」を設置しました。
主催:ひろしま気候変動適応センター(広島県立総合技術研究所保健環境センター内)

「適応策」の取組③



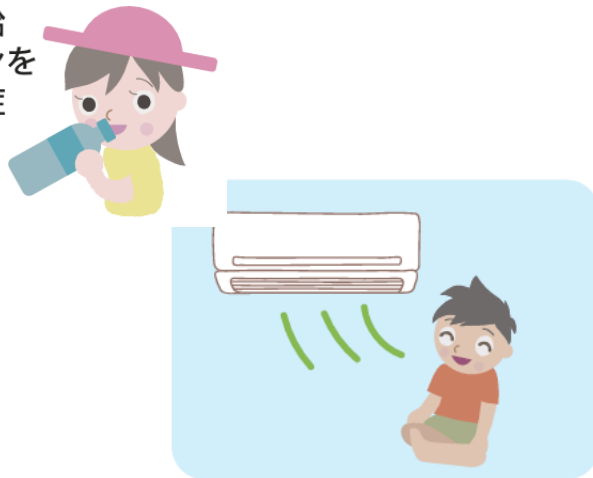
みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■ 適応とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、
社会の仕組みや一人ひとりの生活のあり方を変えていくこと！

健康を守るための「適応」

- こまめな水分補給や、エアコン使用による熱中症予防など、自身の健康を守るために行動することも「適応」

こまめに水分補給したり、エアコンを適切に使い熱中症予防をする。



気象災害から暮らしを守るための「適応」

- 天気予報や防災アプリの確認、ハザードマップや避難経路を確認し、気象災害に備え身を守る準備をすることも重要な「適応」

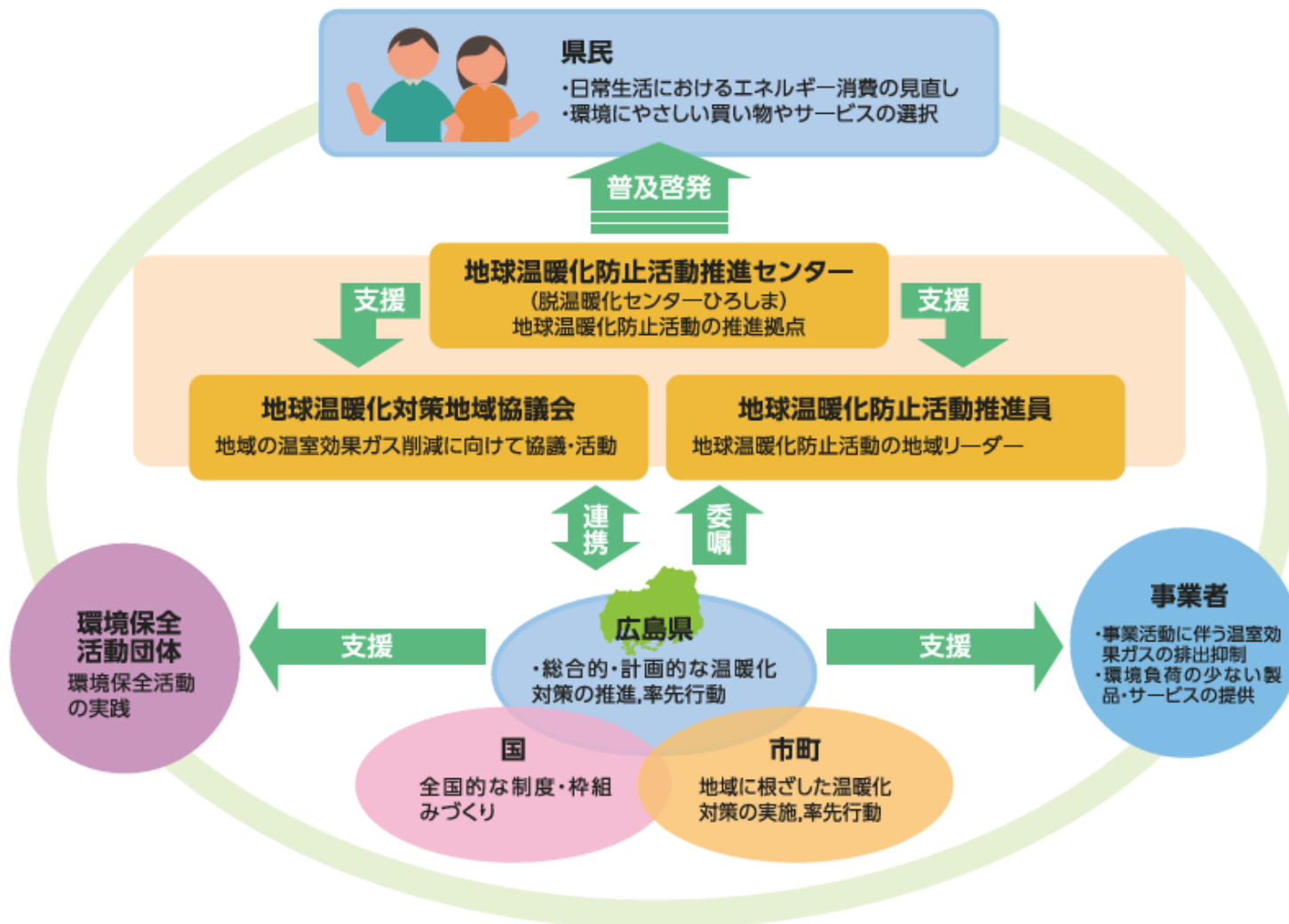


計画の推進体制



みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

■地球温暖化対策，気候変動への対策を着実に進めるためには，
多様な主体による連携・協働の取組が大切！





みんなで挑戦 未来につながる
2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン

- 環境問題の多くは、
日常生活や事業活動に
起因しています。
- このことを一人ひとりが
理解し、考え、ライフスタイルや
事業活動を見直し、行動を起こす
ことが求められています。
- 環境負荷の少ない
持続可能な社会の実現に向けて、
皆様の格別の御理解と御協力を
お願いします。